

イージス・システム搭載艦 (DDG) 護衛艦・こんごう型



艦隊防空能力を向上するイージス・システム搭載艦で、レーダー覆域数百 km 以上、10 目標以上同時対処可能、最大射程 100km 以上と飛躍的に能力が向上した。現代海戦における本格的な指揮管制能力を持つ。対空ミサイル発射機及び対潜ロケット・アスロック発射機は、最新の垂直発射方式で、コンテナ・マガジン型の Mk41MOD2VLS である。艦橋構造物は 6 層で、4~5 層がレーダー室、6 層目が艦橋となっている。装備するフェーズド・アレー・レーダは SPY - 1D である。船体は電波、音波、熱線に対するステルス性を考慮した海面に対して切れ込んだ V 字型。艦首部甲板の砲は、自衛艦として初採用の OTO127 ミリ単装砲で、後部甲板は新対潜システムを持つ SH - 60J 対潜ヘリ用発着甲板となっている海上自衛隊最大の護衛艦。パワのソーナーは OQS - 102、ESM は国産初装備の NOLQ - 2 型、適味方識別装置は UFX - 29、対水上レーダーは OPS - 28 型、射撃指揮装置は FCS - 2 型 21 と MK - 99 で、スーパーバード衛星通信装置を搭載している。

[主 要 目]	基準排水量	7,250 t		
	長さ	161.0m	幅	21.0m
	深さ	12.0m	吃水	6.2m
	船型	平甲板型	出力	100,000PS
	速力	30kt	乗員	300人
	主機	COGAG 方式ガスタービン×4		
[主要兵装]	イージス装置一式			
	スタンダード SAM / アスロック SUM 装置一式			
	54 口径 127mm 単装速射砲×1			
	高性能 20mm 機関砲×2			
	対艦ミサイル・ハーブーン発射装置一式			
	3 連装短魚雷発射管×2			
[製 作]	三菱重工業(株)、石川島播磨重工業(株)		対潜情報処理装置一式	
	[受 注 額] 473 億円			